

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS 2011 NURSE LETTER 10

今月も8月号に続き、内容盛りだくさんのため2部にわたっての発行となりました。「〇〇の秋」・・・皆さんは何をしますか？

当院主催研修特集

看護研究発表会

今年度は平日に行われ、教育委員の講評など**新たな試み**の看護研究発表会となりました。参加者も多く、フロアからの質疑も活発に行われました。

発表者の4名に、ひと言ずつ頂きました。

ICUにおける人工呼吸器患者に対する鎮静・鎮痛の為にプロトコルの有効性

ICU 箱崎里奈

人工呼吸管理中の**不適切な鎮静**は、色々な合併症を併発します。作成した「鎮静・鎮痛のためのプロトコル」は、**覚醒遅延**を防ぐことができ有効でした。また、スタッフ間で、**統一した看護ケア**が提供できるようになりました。これからも、患者がより安全で、安楽な治療が受けられる様に、看護ケアを提供していきたいです。



心臓カテーテル検査における患者の保温方法の検討

北5 崎山利枝

北5病棟の研究のテーマは「心臓カテーテル検査における患者の**保温方法**の検討」でした。この研究を通して、ひと言に保温といっても温度変化だけでなく、**患者の感じる温度感覚**を大切にすることで看護の質や患者中心の看護を再認識することが出来ました。今回の研究に際しご協力いただいた方々に深く感謝致します。



被災労働者が職場復帰を目指すまでの思いの分析

北7 石原麻衣子 (現 ICU)

今回の研究で、被災労働者が、**職場復帰**を決意するまでの思いを明らかにすることが出来ました。今後は、被災労働者だけでなく、勤労者である患者様の職場復帰への支援も必要であると感じます。他部門との連携を図り、**入院から職場復帰までの一貫した支援の構築**に取り組んでいきたいと思えます。

生活習慣プログラムの実施から学ぶ患者指導の時期

外来 嶋添奈保子

今回私達の研究は、健康ブームの中、興味を持てるメタボリックシンドロームに関連したテーマとしました。**生活指導を受けた方々の心理状態**を研究を通して学ぶことが出来ました。また、結果とやる気は必ずしも連動しないという事、**意識の改革をサポート**することが非常に大変である事など、患者に対して大きな役割であることを再度認識することになり良い経験をしました。メタボ脱出御希望の方、健診部にお任せください。

四元奈生美氏



女性フォーラム

北6病棟 神野結花

平成23年9月17日土曜日、第9回女性フォーラム～働く女性のヘルプサポート～が新居浜市市民文

化センター中ホールで開催されました。当日は台風接近による大雨に見舞われましたが足元の悪い中、340人もの方が来場されました。シンポジウム『労災疾病など13分野における性差』では、宮内副院長の「夜勤労働時の日内リズムの乱れと性差」の発表から始まり、計6人の先生の発表がありました。特別講演で

は、プロ卓球選手の四元奈生美さんの「四国お遍路おもてなしの心」と題した座談会方式での講演がありました。四元氏は現在妊娠中という事で、仕事を続けていく為に**病児保育施設の充実**について話されていたのが印象的でした。労災病院では、働く女性の健康管理、QOL向上を目的とし、女性の為の専門外来など様々な活動をしています。今回の女性フォーラムは新居浜市民に対して良いアピールになったと思います。近年、女性が男性と同様の環境で働く事が当たり前になってきましたが、私たち看護師も働く女性として、**女性と男性の性差を理解**し、健康管理に努めながら働いていきたい、**働く女性の為に役立つ存在**でありたいと思いました。